



# こうだ人権会館だより

2016年  
11月号

編集・発行 甲田人権会館 電話・お太助フォン 45-4922

## 12月4日から10日までは「第68回人権週間」です

国際連合は、1948年12月10日に「世界人権宣言」を採択しました。

これを記念して、国際連合は、12月10日を「人権デー」と定め、すべての加盟国に対して、人権高揚のための行事を毎年実施するよう呼びかけています。

法務省と全国人権擁護委員連合会では毎年「人権デー」を最終日とする一週間を「人権週間」と定め、人権意識の普及高揚のための啓発活動を全国的に展開しています。安芸高田市内でも人権啓発行事を開催しています。甲田人権会館においては、人権啓発講演会や映画上映会を開催するなど、日頃から人権問題に積極的に取り組んでいます。この人権週間を契機に私たち一人ひとりが、あらためて人権について考え、差別や偏見のない明るい社会を築くための行動を起こしていきましょう。

### 11月27日(日)

13時00分から16時30分

甲田文化センターミュージズ

講演会

### 「みんなの学校が

### おしえてくれたこと」

講師 大阪市立大空小学校初代校長

木村 泰子 さん

映画上映「みんなの学校」

## 6月11日開催「在宅介護応援セミナー」

排泄ケアが暮らしを変える

一人ひとりの豊かな生活のために  
高齢生活研究所長・排泄用具の情報館むつき庵代表

浜田 きよ子さん



自立を助ける福祉用具があることを学びました。

また、おむつが変わって姿勢がよくなり、そのことで食事もしやすくなったことで元気になった事例も聞きました。

参加者にも実際おむつを着用していただき、重ねておむつをはいたときの不快感の体験と、正しいおむつのあて方など学びました。

また、むつき庵から持参いただいた多種類のおむつを説明いただき、人権会館職員をモデルにし、おむつのあて方の実演をおこないました。

体や状態に合ったものを選び正しくあてれば、余計な隙間がでず体にフィットして、寝返りを打つてもモレやムシを防ぐことが分かりました。

排泄用具を展示、研修、相談の場としての排泄用具の情報館「むつき庵」を紹介されました。その「むつき庵」で研修を受け、おむつフィッターとして資格をもった方が中心になり、正しい排泄用具の使い方や相談を受ける「むつき庵」が安芸高田市に開

設されることができれば、高齢者が自分らしく生活することができるようではないでしょうか。

## 7月30日・8月5日・21日開催

### 「黒田裕樹の歴史講座」

大阪府内高校社会科教師の黒田裕樹先生の3回連続講座を開催。

1回目は「毛利家の栄枯盛衰」と題し、天下統一に一番近かったと言われる毛利元就の生涯を中心に、戦国時代から江戸時代までの栄えたり衰えたりといった歴史と、元就がどんな思いや考えで時代を過ごしてきた(歴史をつくってきた)のかを学びました。

2回目は「秀吉の朝鮮出兵」と題し、身分に関係なく出世し、天下をとった秀吉の人生を中心に、世界情勢もふまえながら、なぜ朝鮮に出兵しなくてはいけなかったのか。それは外国からの日本侵略を防ぐ(日本を守る)ためだったことを学びました。

3回目は、「日本と韓国のほんとの歴史」と題し、日韓併合の歴史的経緯を詳細に追いながら、日本は資金を費やし朝鮮半島の近代化につとめたことや、ここでも日本は安全保障上韓国を併合しなければならなかったことなどの歴史的認識を学びました。



3回にわたる講座で学んだ歴史認識と自分が理解している歴史認識を模索し、人としてお互いが尊敬しあえるようにしたいものです。

※歴史を深く学びたい方は資料をお渡しいたしますの  
で、甲田人権会館までお越しください。

# 開催した講演会等と参加者の感想

## (一部紹介)

### おひとりさまになっても 最期までこの町で暮らしたい

4月16日(土) 50名参加

#### 第1部 講演「認知症と成年後見制度」

中澤 まゆみ さん  
(ノンフィクションライター)

#### 第2部 対談

「おひとりさまの認知症と成年後見制度」

～なってみてわかった成年後見人のお仕事の実際～

中澤 まゆみ さんと 中村 四郎 さん

(ライフアシストみらい理事長)



【70歳代男性】

明日は我が身であります。今後の事を考えると一人での生活は大変でもあります。地域の中で生きることを考え実践していくことを考えました。対談は前段の講演の内容から良かったです。

### もっとしっかりかんがえよう 振り込め詐欺予防講演会

5月27日(金) 23名参加



「自分は大丈夫と  
思っているみなさん  
本当に大丈夫ですか」

上田 賢治 さん

(安芸高田市危機管理課主幹)

【70歳代女性】

自分ばかりかからないと思っているが、いざ電話がかかったら動揺するかもしれません。  
冷静さを失わないようにしなくてはと思います。

### 認知症講演会&映画上映会

6月26日(日) 240名参加



・講演会「認知症の基礎知識」

～認知症になっても安心して  
暮らせる地域をめざして～

瀬川 昌弘 さん

(医療法人社団せがわ会千代田病院 精神科部長)

・映画上映「妻の病」

ー レビー小体型認知症 ー



【60歳代女性】

よく動く、よく噛む、よく寝る、生活リズムが大切である事、自分に合わせて行動する。以上を実行すると予防になることを知りました。話を聞いているとこわい病気だと思う。いかに予防が大切だと気付きました。

【40歳代男性】

身近な人が認知症になった時、どのようにして少しでもその人の心に寄り添えるか今からシミュレーションをしていきたいと思えます。

### 在宅介護応援セミナー

6月11日(土) 50名参加



「排泄ケアが暮らしを変える」

～一人ひとりの

豊かな生活のために～

浜田 きよ子 さん

(高齢生活研究所所長・  
排泄用具の情報館「むつき庵」代表)

【50歳代女性】

排泄に関してモレがないように。とばかり考えていましたが、原因と対策、姿勢がポイント、おむつの使用方法が自立を促すことができるようになりました。おむつは安価だけでなく質ですね。おむつの対策だけでなく環境づくりも大切ですね。

### 黒田裕樹の歴史講座

黒田 裕樹 さん (大阪府内の高校社会科教師)



第1回 7月30日(土) 90名参加

「毛利家の栄枯盛衰」

第2回 8月5日(金) 84名参加

「秀吉の朝鮮出兵の真実」

第3回 8月21日(日) 95名参加

「日本と韓国のほんとうの歴史」

1回目：【80歳代男性】

元就はあれほど偉大な人であったかと感心致しました。歴史の面白さが今日はわかりました。

2回目：【70歳代女性】

うわべだけの歴史を学んでいたような気がしました。新しい発見(真実)をたくさん知りました。  
他国から見た秀吉。日本人から見て真実の評価を広めたいですね。

3回目：【70歳代女性】

連続講座として取り組んでいただきたいです。歴史の真実は国と国のその時々でむづかしい事ですが、これからは世界の人々が前向きに平和を願いたく思います。

大空は  
明日へつづく

# みんなの学校

出演:大空小学校のみんな  
監督:真鍋俊永 ナレーション:豊田康雄 企画:迫川緑 プロデューサー:中尾雅彦 加藤康治 兼井孝之  
撮影:大窪秋弘 撮影助手:堀貴人 編集:北山晃 編集協力:秦岳志 整音:中嶋泰成 音響効果:萩原隆之 題字:谷篤史  
製作:関西テレビ放送 配給:東風  
2014年 | 日本 | 106分 | BD・DCP | ドキュメンタリー © 関西テレビ放送

minna-movie.com

平成25年度 文化庁芸術祭賞  
テレビドキュメンタリー部門 大賞  
2013年 日本民間放送連盟賞  
報道番組部門 優秀賞  
第9回 日本放送文化大賞  
準グランプリ  
第21回 坂田記念  
ジャーナリズム賞  
第51回 ギャラクシー賞  
テレビ部門 選奨  
第67回 日本映画テレビ技術協会  
映像技術賞  
第33回 地方の時代映像祭  
放送局部門 優秀賞

ふつうの公立小学校のみんなが笑顔になる挑戦

不登校も特別支援学級もない 同じ教室で一緒に学ぶ

**入場無料**

**11月27日(日)**  
**ミューズ**

第68回人権週間記念事業

## 映画「みんなの学校」上映と木村泰子さん講演会

### テーマ「みんなの学校が教えてくれたこと」

講師 **木村泰子** さん(大阪市立大空小学校初代校長)

「みんなで作る みんなの学校」を合言葉に教職員や地域の人たちの協力で設立された大空小学校の初代校長



◆ 映画「みんなの学校」の見どころ



# すべての子供に居場所がある学校を作りたい。

大空小学校がめざすのは、「不登校ゼロ」。ここでは、特別支援教育の対象となる発達障害がある子ども、自分の気持ちをうまくコントロールできない子ども、みんな同じ教室で学びます。ふつうの公立小学校ですが、開校から6年間、児童と教職員だけでなく、保護者や地域の人もいっしょになって、誰もが通い続けることができる学校を作りあげてきました。

すぐに教室を飛び出してしまう子ども、つい友達に暴力をふるってしまう子ども、みんなで見守ります。あるとき、「あの子が行くなら大空には行きたくない」と噂される子が入学しました。「じゃあ、そんな子はどこへ行くの？ そんな子が安心して来られるのが地域の学校のはず」と木村泰子校長。やがて彼は、この学び舎で居場所を見つけ、春には卒業式を迎えます。いまでは、他の学校へ通えなくなった子が次々と大空小学校に転校してくるようになりました。



## 学校が変われば、地域が変わる。そして、社会が変わっていく。

このとりくみは、支援が必要な児童のためだけのものではありません。経験の浅い先生をベテランの先生たちが見守る。子供たちのどんな状態も、それぞれの個性だと捉える。そのことが、周りの子供たちはもちろん、地域にとっても「自分とは違う隣人」が抱える問題を一人ひとり思いやる力を培っています。

映画は、日々生まれかわるよう育っていく子供たちの奇跡の瞬間、ともに歩む教職員や保護者たちの苦悩、戸惑い、よろこび……。そのすべてを絶妙な近さから、ありのままに映していきます。そもそも学びとは何でしょう？ そして、あるべき公教育の姿とは？ 大空小学校には、そのヒントが溢れています。みなさんも、映画館で「学校参観」してみませんか。



驚いた！ ここには、ありのままの公立小学校の魅力が、大胆に惜し気もなく躍動している。人間が発達可能体であることを、限界なしに教えてくれる。それにしてもスゴイ記録映画が完成したものである。学校と教育の未来に、希望が湧く映画である。

——尾木直樹（尾木ママ）教育評論家 / 法政大学教授

一緒に学ぶという選択肢を考えられなかった人たちに、こんな方法もあるんだということを知ってほしいと思いました。

——20代・女性（大学院生）

子供たちひとりひとりが能力に応じて大切にされていること、手がかかる子もかからない子もいるけど平等に愛されていること、そういう学校が地域の中で理解されて存在していること、それらのことにとっても感動しました。

——細川昭々（漫画家・イラストレーター）

minna-movie.com

11月27日(日)

◆ 時間：上映会 13:00~14:50 / 講演会 15:00~16:30

◆ 場所：甲田文化センター ミュース

主催：安芸高田市/甲田人権会館

協働：安芸高田市人権協会・世界人権宣言甲田町実行委員会

問合せ先：甲田人権会館 電話 0826-45-4922